

「下水道新技術セミナー」 開催のご案内

—下水道における新エネルギー技術—

本機構では、下記の通り第42回（平成19年度第2回）下水道新技術セミナーを開催します。参加ご希望の方は、専用の申込み用紙でFAXにてお申込み下さい。プログラム等の詳細は、ホームページをご覧ください。

テーマ	下水道における新エネルギー技術	
開催日時	19年11月9日（金） 13:00～17:00	19年11月15日（木） 13:00～17:00
開催地	東京	大阪
会場	発明会館 東京都港区虎ノ門2-9-14 (TEL 03-3502-5499)	大阪科学技術センター 大阪市西区靱本町1-8-4 (TEL06-6443-5324)
交通	・地下鉄（銀座線）虎ノ門駅 3番出口徒歩5分 ・地下鉄（千代田線）霞ヶ関駅 A13番出口徒歩10分	・地下鉄（御堂筋線）本町駅 2番出口から西へ徒歩8分 ・地下鉄（四ツ橋線）本町駅 28番出口から北へ5分
申込期限	11月1日（木）	11月7日（水）
内容	学識経験者による基調講演および関連メーカーの技術者による発表を行います。 ・基調講演「エネルギーと環境問題」 東京会場：東京大学工学系研究科電気工学専攻 教授 山地憲治 大阪会場：京都大学大学院エネルギー科学研究科 教授 手塚哲央 ・メーカー発表 ①（株）日立製作所 ②（株）東芝 ③ 富士電機水環境システムズ（株） ④ 三菱電機（株） ⑤（株）明電舎 ⑥（株）NGK水環境システムズ	

定 員：各会場250名（定員になり次第締め切らせていただきます）

資 料：当日配布いたします

参加料：無 料

お問合せ：（財）下水道新技術推進機構 企画部 鈴木，村山

TEL03-5228-6511 FAX03-5228-6512

「第46回新技術現場研修会」 開催のご案内

下水道機構では、下水道事業等の施設建設、維持管理等新技術について業務の実態把握と意見交換などを目的とした新技術現場研修会を実施しており、このたび第46回（平成19年度第3回）新技術現場研修会を下記のとおり企画しましたので、ご案内いたします。

1. 研修内容

石川県珠洲市・バイオマスメタン発酵施設

（下水道機構と珠洲市とでの共同研究「バイオマスメタン発酵に関する研究」について学び、平成19年7月に稼動したバイオマスメタン発酵施設を視察します）

珠洲市浄化センター バイオマスメタン発酵施設の概要

- ・処理方法 湿式中温メタン発酵処理システム
- ・処理対象 下水汚泥、農業集落排水汚泥、浄化槽汚泥、し尿、生ゴミ
- ・処理能力 32.9wt/日

2. 開催日時・場所

日 時：平成19年10月25日（木） 13：30～16：30

場 所：石川県珠洲市 珠洲市浄化センター

石川県珠洲市熊谷町2部43番地 （TEL0768-82-4427）

集 合：能登空港1階到着ロビーまたは珠洲市役所1階ロビー

3. 募集人員 50名（申込み多数と予測されるため、原則、1機関1名とし、先着順に受けさせていただきます。）出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者を対象としています。

4. その他

新技術現場研修会は10月25日夕方ですが、希望者には10月26日午前（株）明電舎のご協力で、NEDOと（株）明電舎との共同研究（ロータリーエンジンを適用した木質バイオマスガス化発電システム実証事業、12wt/日）施設の見学をご案内します。

5. 参加費用 無料

6. お問い合わせ・申込み先 （財）下水道新技術推進機構 企画部：鈴木、村山
TEL 03-5228-6511 FAX 03-5228-6512

「第47回新技術現場研修会」 開催のご案内

1. 研修内容

「SPIRIT21 合流式下水道改善技術」で研究開発された「高速ろ過装置」を視察します。

この施設は、平成19年春に稼動を始めた日本で始めてのもので、凝集剤による前処理が不要です。

- ・処理方式 上向ろ過方式
- ・処理能力 170,000m³/日（ろ過速度 1,000m/日）

2. 開催日時・場所

日 時：平成19年11月28日（水）13：30～16：30

場 所：東京都下水道局流域下水道本部
北多摩二号水再生センター（TEL042-572-7711）
（〒186-0012 国立市 泉1-24-32）

3. 募集人員 50名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

（申込み多数と予測されるため、原則、1機関1名とし、先着順に受付けさせていただきます。）

出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者を対象としています。

4. 参加費用 無料

5. お問い合わせ・申込み先 （財）下水道新技術推進機構 企画部：鈴木，村山 TEL：03-5228-6511 FAX：03-5228-6512

民間企業との 共同研究2テーマが完了

—共同研究者に研究成果証明書を交付—

8月2日に開かれた技術委員会において、下記の民間企業との共同研究の完了が承認されました。そこで、下水道機構では同月10日に、これら2テーマの共同研究者である計11社に対し新技術研究成果証明書を交付しました。

●合流式下水道改善対策における繊維ろ過技術に関する研究

共同研究者：(株)クボタ、月島機械(株)、三菱化工機(株)、ユニチカ(株)

●新高効率型遠心脱水機に関する研究

共同研究者：石川島環境エンジニアリング(株)、荏原環境エンジニアリング(株)
月島機械(株)、三機工業(株)、住友重機械エンバイロメント(株)
巴工業(株)、(株)西原環境テクノロジー

平成19年度建設技術審査証明 依頼技術の承認について

平成19年度建設技術審査証明依頼技術である「C-ONE工法(変更)」(下水道管きよの更生工法—反転工法—および取付け管の修繕工法)について、「管きよ更生工法における設計・施工管理の手引き」(暫定版)に基づき、水密性の開発目標の変更(0.098MPa→0.1MPa)のため、事務局立会のもと試験を行い、7月17日の第1回第1審査証明委員会において、開発目標に適合していることが確認されました。

また、「プラスチック製貯留・浸透施設(変更)」(雨水流出抑制施設)について、6月22日の第1回審査証明委員会において、依頼者追加の変更が承認されました。

(1) C-ONE工法(変更)

(下水道管きよの更生工法—反転工法—および取付け管の修繕工法)

技術提案者：大管工業(株)、(株)大坂組

技術審査証：審査証明第 0701号

審査証明の有効期限：2011年3月31日

(2) プラスチック製貯留・浸透施設(変更)(雨水流出抑制施設)

技術提案者：エバタ(株)、アロン化成(株)

クボタシーアイ(株)、前澤化成工業(株)

技術審査証：審査証明第 0702号

審査証明の有効期限：2012年3月31日

下水道新技術を学ぶ 「出前講習会」を開催しています

—是非ともご活用下さい—

1. 出前講習会とは

出前講習会は、下水道機構が発刊した技術マニュアルを広く活用して頂くために、平成18年度より始めた講習会です。マニュアル等については、公共団体等へ毎年3,000部ほど配布していますが、これまでは公共団体の技術者に直接ご説明する機会はありませんでした。マニュアルの内容は、コンサルタントやメーカー・ゼネコン等の方々に理解して頂くことはもちろんですが、何よりもユーザーとしての公共団体の方々に理解して頂くことが重要です。本講習会は、下水道機構の職員が各公共団体を訪問し、技術マニュアルの内容や活用方法について直接ご説明し、技術者の方々にご理解・ご活用頂くことが目的です。



出前講習会状況

2. 発表内容

本年度は、主として以下の4テーマについて発表しました。

- (1) 下水道における新エネルギー技術の導入・評価に関する技術資料
- (2) 小規模雨水貯留浸透・排水配管システム技術マニュアル
- (3) 汚水圧送管路の硫化水素抑制技術マニュアル
- (4) 下水道シールドトンネルの歴史とその評価に関する調査

3. 概況

本年度は、京都市を皮切りに名古屋・東京・大阪・福岡と全国5カ所にて開催しました。

各回とも多くの方々が参加され、1会場当たり約50名、総計約250名の方々にご説明いたしました。

発表に関する質疑応答も活発で、発表者が返答に戸惑うような現場特有の質問も多く出ました。また、時間内に意見や質問が終わらず、個別に発表終了後の休憩時間を使って意見交換を行う場面も見受けられ、有意義な講習会になったのではないかと思います。



発表状況

4. おわりに

出前講習会を通じて、マニュアルに関する疑問点やテーマの関心度、また自治体の皆様の日頃の問題点等を体感することができ、発刊しただけでは分からない多くの経験をすることができました。今後も本活動を継続し、より良い技術マニュアルへと反映させていこうと考えています。また、各公共団体にて出前講習会を希望される場合、当機構へご連絡頂ければ、今後も積極的に開催してまいります。是非ともご活用下さい。